

報道関係者各位

2025 年 10 月 吉日
情報産業労働組合連合会

【イベント取材のご案内】

慶應・山本龍彦教授×リスクリング第一人者が語る「AI時代の社会と労働」
情報労連「第22回 ICTS フォーラム 2025」11/11 開催
— ITエンジニア実態調査の速報も公表 —

日時：2025 年 11 月 11 日（月） 14:00～16:45（オンライン開催）

情報通信・情報サービス産業で働く約 19 万人が加盟する情報産業労働組合連合会（中央本部：東京都千代田区、中央執行委員長：北野眞一、以下「情報労連」）は、11 月 11 日（月）、オンラインにて「第 22 回 ICTS フォーラム 2025」を開催します。

本年のテーマは、急速に進展する AI 技術がもたらす社会構造と労働環境の変化です。デジタル空間における「人権」「民主主義」「信頼の再構築」という課題を、憲法学者・山本龍彦氏（慶應義塾大学院教授）による基調講演で掘り下げます。

また、「生成 AI 時代のリスクリング」をテーマに、ジャパン・リスクリング・イニシアチブ代表の後藤宗明氏が、企業・個人が直面する“学び直しの必然性”を語ります。

さらに、フォーラムの最後では、情報労連が毎年実施する「IT エンジニアの労働実態調査（第 32 回）」の速報結果を報告するため、AI・DX 時代における労働環境や人材育成の実態についても収集できる場となっています。

社会・経済・労働の交差点で議論される本フォーラムは、AI 時代における“人間らしい働き方”を多面的に考える貴重な機会です。ぜひ取材・ご参加をお待ちしています。

■イベント概要

日時	2025 年 11 月 11 日（月） 14:00～16:30
開催形式	Zoom オンラインでの配信
プログラム	14:00 主催者代表あいさつ 14:10～ ◆講演 I 「AI と人権・民主主義——憲法学の視点から」 講師：慶應義塾大学大学院法務研究科 教授 山本 龍彦 氏

	<p>15:25～</p> <p>◆講演Ⅱ「生成A I時代のリスクリング（仮題）」</p> <p>講師：一般社団法人 ジャパン・リスクリング・イニシアチブ 代表理事 後藤 宗明 氏</p> <p>16:30～</p> <p>◆報告</p> <p>情報労連「2025 I Tエンジニアの労働実態調査結果」速報報告</p>
--	---

講演Ⅰ AIと人権・民主主義—憲法学の視点から



講師：山本 龍彦 氏 慶応義塾大学大学院法務研究科 教授

慶応義塾大学大学院法務研究科教授、同大学X Dignityセンター共同代表。慶応義塾大学法学部卒業、同大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、博士（法学）。内閣府消費者委員会委員。日本公法学会理事。デジタル庁・経済産業省「国際データガバナンス検討会」座長、総務省「ICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会」座長、DIGITAL POSITIVE ACTION推進会会長、総務省「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会」座長代理などを務める。
主な著書に『プライバシー』（法律文化社）、『アテンション・エコノミーのジレンマ』（KADOKAWA）、『<超個人主義>の逆説—AI社会への憲法的警句』（弘文堂）

講演Ⅱ 生成AI時代のリスクリング(仮題)



講師：後藤 宗明 氏 一般社団法人 ジャパン・リスクリング・イニシアチブ 代表理事

みずほ銀行入行後、米国フィンテック企業、アクセンチュアにて人事領域のDX、AIスタートアップにてAI研修の企画運営を担当。2021年より現職、政府、自治体向け政策提言、企業向けのリスクリング導入支援を行う。2022年、スキルベース組織への変革を支援するSkyHive日本代表に就任。広島県、山梨県、山形県、茨城県にてリスクリング推進に向けた協議会委員、経済産業省「スキル標準化調査委員会」委員等を歴任。著書『自分のスキルをアップデートし続ける「リスクリング」』は読者が選ぶビジネス書グランプリ部門賞受賞。2025年9月に新著『リスクリング【人材戦略編】』を上梓。

報告 情報労連「2025 ITエンジニアの労働実態調査結果」速報報告

主催	協賛(予定)	後援(予定)	
情報産業労働組合連合会 (情報労連)	一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会	一般社団法人 ソフトウェア協会	経済産業
	一般社団法人 組込みシステム技術協会	一般社団法人 東京都情報産業協会	総務省
	一般社団法人 情報サービス産業協会	一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会	労働新聞社
			(50音順)

■参加のお申し込みについて

参加のお申し込みは、広報メール（ictjpr@joho.or.jp）までご連絡ください。視聴URLについてご返信いたします。【2025年11月10日（月）17:00〆切】

■フォーラムの開催経緯や詳細について

本フォーラムは、急速に進展するA I技術がもたらす情報環境の変化と、それに伴う社会・労働への影響に着目し、多角的な視点から今後のあるべき社会の姿と、労使の果たすべき役割について考察する機会と位置づけています。

生成A Iをはじめとする最新技術は、私たちの生活や働き方に大きな可能性を広げる一方で、デジタル空間における情報過多やアテンション・エコノミーの進行、さらには偽情報・誤情報の拡散など、社会的信頼や民主主義に深刻な影響を及ぼす問題も

顕在化しています。現代のデジタル社会が直面するこれらの課題に対し、健全な情報空間をいかに実現していくか、考えを深める場となります。

また、企業におけるAI・DX人材の育成がますます重要となる中、企業の事業戦略や人材戦略を労使で共有し合いながら、事業変革と新たなスキルの習得を進めることが求められています。「リスクリング」に取り組む意義や、企業労使が果たすべき役割を確認し、全体で考える契機とします。

さらに、情報労連は、情報サービス産業の労働実態を把握する観点から、1993年より「ITエンジニアの労働実態調査」として賃金や労働条件などについて毎年調査を実施しており、フォーラムの最後には、2025年調査結果の速報を解説します。正式には来年1月以降で別途、記者向け説明会を開催する予定ではありますが、ぜひいち早く最新情報に触れていただき、企画の参考にしていただければ幸いです。

※2024年調査結果のダイジェスト資料：

https://www.joho.or.jp/cmswp/wp-content/uploads/2025/05/2024_digest.pdf

■情報労連について

情報労連は、情報通信・情報サービス産業、通信建設業を中心とした産業別労働組合で、NTT労組、KDDI労組、ソフトバンク労組などが加盟し、228組合、約19.2万人の組合員で構成しています。また、「複合産別」として、印刷・運輸・製造・建築・ビルメンテナンス・医療・福祉などの労働組合も加盟しています。

「私たちは、信頼と共感を礎に、社会的価値ある労働運動を推進し、誰もが暮らしやすい社会の実現をめざします」を基本理念に据え、組合員のみならず、すべての人が安心して暮らし、働き続けられる社会の実現に向け、様々な活動に取り組んでいます。

■情報労連の概要

名 称：情報産業労働組合連合会（情報労連）

所 在 地：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6 全電通労働会館5階

組織人員：228組合、約19.2万人（2025年10月現在）

加盟業種：情報通信・情報サービス・通信建設・印刷・運輸・製造・建築・ビルメンテナンス・医療・福祉など

目 標：情報労連は信頼と共感を得る産業別労働組合として「産業政策」の確立と実現とより多くの仲間を結集する「組織拡大」を重視しています。雇用や労働条件の方向性を明示して安心感を醸成すること、そしてより多くの仲間が集まることによって、より大きな力を発揮することが産業別労働組合の役割だと考えています。

公式HP : <https://www.joho.or.jp/>

<参考情報>

・情報労連の労働組合への加入や、新たに労働組合を作るためのお問い合わせはこちらをご参照ください。

<https://www.joho.or.jp/howtojoin>

・無料労働相談について :

<https://www.joho.or.jp/consultation>

(情報労連の組合員以外の方であれば、どなたでも相談可能です。)

賃金、労働条件、解雇、パワハラ、セクハラ、組合を作りたいなどの相談をメールで受付けています。お気軽に相談ください。

・あいねっと倶楽部

<https://www.i-net-club.jp/>

情報労連が運営する組合員とその家族のみが利用できる福利厚生サービスです。専門家による労働相談法律相談・年金相談・健康なんでも相談、セクハラ相談などの生活に関わる相談が無料でできるほか、育児・介護などのライフステージに合わせたサービス、日々の暮らしに役立つ幅広いサービスを提供しています。

■本件についての報道関係のお問い合わせ先

情報労連 政策局 : 斎藤・倉田

TEL : 03-3219-2231 E-mail : ictjpr@joho.or.jp